



2 0 2 6 年 7 月 1 5 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

貨物鉄産労第 42 回定期全国大会 第 17 回貨物連合定期大会

～安全の確立と組織強化・拡大を決意！～

貨物鉄産労は 7 月 13 日、新大阪丸ビルにおいて第 42 回定期全国大会を開催し、2026 年度の運動方針を確立した。あわせて第 17 回貨物連合定期大会も同時開催され、J R 連合から上村良成会長と谷口昌隆組織・政治局長が出席した。



辻村委員長

辻村和裕中央執行委員長（J R 連合副会長）は挨拶で、安全課題、各政策課題に触れつつ、それを組織強化・拡大につなげていくこと、そして諸先輩が築いてきた貨物鉄産労を守り、さらに発展させていく決意を力強く訴えた。



上村会長

上村会長は、昨年度の J R 連合関係者の事故・事象・労災に言及し、安全の取り組みの深度化を要請するとともに、貨物経営における選択と集中の必要性や、線路使用料の改定に向けた課題と今後の取り組みを共有した。

質疑応答では、全地区本部や貨物連合の代表から、政策課題の解決、各ターミナルにおける課題、基盤となる組織拡大に関して報告と決意が述べられ、J R 連合ならではの活動をアピールし、主体的に行動する必要性を確認した。

辻村委員長の集約答弁を受けてすべての議案が承認され、今後の組織拡大とさらなる躍進を決意し、団結がんばろうで締めくくった。



団結がんばろう